

*児童数確保の見込みについて

新設する瑞穂の國記念小学院（仮称）の入学児童数の見込みについては、以下のアンケートや分析結果に基づき予測した。

- ① 塚本幼稚園児教育学園（以下：本園）の在籍園児保護者アンケート
- ② 豊中市内の幼稚園児保護者へのアンケート
- ③ 豊中市以外の地域からの児童獲得数可能性分析
- ④ 開学初年度の2年生の入学児童数の予測（1・2年同時開学のため）=他小学校の事例分析

以下に、①～④の個々について説明し、それらの結果を総合し、本園が平成28年度に開設を予定している小学校が定員1年生80名、2年生50名を確保することは可能であることを記述する。

① 在籍園児保護者アンケート（別紙1参照）について=平成26年7月実施

・調査対象 本園園児の全保護者（在籍園児数 年長：76名 年中：54名 年少：67名）

※年中児は開学年度に小学1年生（新入学）、年長児は同じく小学2年生（編入学）
に該当する。

・調査内容 在籍年次・性別

・本園が新設を予定している小学校への進学意志と学費について
・既存の公私立小学校に対する印象など

・回答件数 96名（回収率 年長 37名 49.3% 年中 25名 46.3% 年少 40名 59.7%）

※兄弟姉妹での在籍があるので、回答件数と各年次園児数の合計は一致しない。

・集計結果 別紙2参照

*入学可能性についての回答結果（在籍年次との関係）

<問5について>

「必ず入学させる」「おそらく入学させる」「入学させる可能性が高い」「入学させる可能性がある」とした回答者は全員出願すると仮定。

<問7について>

解決策が講じられれば「入学する」とした回答者の半数が出願すると仮定（必ずしも全員が解決策の一つである奨学金を受けられるとは限らないので）。

→ 上記の合計を出願者数と想定し、それらを在籍年次別に見ると以下の通りとなる。

→ 若干、楽観的と見えるかもしれないが、アンケート回収率が年長49.3%、年中46.3%、年少59.7%であることを考えると、以下の数字はクリアできると確信している。

・年長児 18（問5該当回答者数）+3（問7該当回答者の半数）=16

・年中児 7（問5該当回答者数）+3（問7該当回答者の半数）=10

・年少児 21（問5該当回答者数）+3（問7該当回答者の半数）=24

（次ページ以降表参照）

* 年長児

問 5

選択項目	男児		女児		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
必ず入学させる。	0	0.0%	1	6.3%	0	0.0%
おそらく入学させる。	0	0.0%	2	12.5%	0	0.0%
入学させる可能性が高い。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
入学させる可能性がある。	8	42.1%	2	12.5%	0	0.0%
入学させる可能性は低い。	9	47.4%	6	37.5%	2	100.0%
入学させない。	2	10.5%	6	31.3%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	19	100.0%	16	100.0%	2	100.0%

問 7

選択項目	男児		女児		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
入学する。	5	55.6%	1	16.7%	1	50.0%
入学しない。	4	44.4%	5	83.3%	1	50.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	9	100.0%	6	100.0%	2	100.0%

* 年中児

問 5

選択項目	男児		女児		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
必ず入学させる。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
おそらく入学させる。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
入学させる可能性が高い。	2	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
入学させる可能性がある。	4	33.3%	1	8.3%	0	0.0%
入学させる可能性は低い。	4	33.3%	10	83.3%	1	100.0%
入学させない。	2	16.7%	1	8.3%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	12	100.0%	12	100.0%	1	100.0%

問 7

選択項目	男児		女児		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
入学する。	2	50.0%	4	40.0%	0	0.0%
入学しない。	2	50.0%	4	40.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	2	20.0%	1	100.0%
合計	4	100.0%	10	100.0%	1	100.0%

* 年少児

問 5

選択項目	男児		女児		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
必ず入学させる。	1	5.9%	2	8.7%	0	0.0%
おそらく入学させる。	2	11.8%	1	4.3%	0	0.0%
入学させる可能性が高い。	2	11.8%	0	0.0%	0	0.0%
入学させる可能性がある。	5	29.4%	8	34.8%	0	0.0%
入学させる可能性は低い。	7	41.2%	11	47.8%	0	0.0%
入学させない。	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	17	100.0%	23	100.0%	0	0.0%

問 7

選択項目	男児		女児		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
入学する。	2	33.3%	4	44.4%	0	
入学しない。	3	50.0%	5	55.6%	0	
無回答	1	16.7%	0	0.0%	0	
合計	6	100.0%	9	100.0%	0	

② 豊中市内の幼稚園児保護者へのアンケート（別紙3参照）について＝平成25年10月実施

- ・調査対象 豊中市内の幼稚園に在籍する園児の保護者
- ・調査内容 本園が新設を予定している小学校への興味・関心・進学希望度など。
- ・回答件数 1,200件（配布 幼稚園19園 1,977件）回答率60.7%
- ・集計結果 別紙4参照

* 入学可能性についての回答結果：

本調査の回答において「入学したい」29名（2.4%）、「入学を検討したい」65名（5.4%）となり、入学の意向を持つ回答者の合計は94名（7.8%）となっている。さらに新設予定の小学校の関心度については、説明会に「是非参加したい」「参加を検討したい」との回答の合計が305名（25.4%）となっており、当該小学校への進学可能性のある者は相当数存在していることを示している。

*児童数確保の見通しについて

本アンケートについては、建設予定地である豊中市の幼稚園児数の合計が6717名（平成25年5月1日当時 大阪府ホームページより）であり、保護者数もほぼ同数と仮定した場合、実施率は29.4%となる。本アンケートでは在籍年次を確定できないが、今回の調査における「入学したい」との回答者29名のみを最も可能性の高い志願者とし、回答人数の3分の1の10名が開設年度の新1・2年にあたる年少児・年中児での志願者と想定し、さらにアンケート実施率の29.4%を考慮すると豊中市内から3.4倍の各学年34名の志願者がいると考えられる。

③ 豊中市以外の地域からの児童獲得数可能性分析について

前記②のアンケート結果から、本校の所在予定地である豊中市からの本校各学年の出願は34名程度と見込まれるが、その他の地域からの獲得可能性を考える参考として、近隣の私立小学校であり同一市内に所在する [] 小学校の在校生分布を見ると次ページ表2の通りとなっている。

[] 小学校が本校の開設予定校と同じく阪急宝塚線沿線に所在することから、②のアンケート結果により開設予定校への豊中市からの出願者を34名とし、他地域からの出願者数を [] 小学校の在校生分布と同様の構成比であると仮定した場合、次ページ表3の通りとなる。

表2. [REDACTED] 小学校在校生分布

地域名	在校生数	構成比
大阪府	232	85.6%
豊中市	78	28.8%
箕面市	57	21.0%
池田市	25	9.2%
豊能郡	2	0.7%
大阪市	25	9.2%
吹田市	30	11.1%
摂津市	1	0.4%
茨木市	12	4.4%
高槻市	2	0.7%
兵庫県	36	13.3%
宝塚市	8	3.0%
川西市	7	2.6%
西宮市	3	1.1%
伊丹市	7	2.6%
尼崎市	8	3.0%
川辺郡	1	0.4%
神戸市	0	0.0%
芦屋市	2	0.7%
その他	3	1.1%
計	271	100.0%

出所 [REDACTED] ホームページ

表3. 本校の地域別出願者予想数

地域名	出願予想数	構成比
大阪府	101	85.6%
豊中市	34	28.8%
箕面市	25	21.2%
池田市	11	9.3%
豊能郡	1	0.8%
大阪市	11	9.3%
吹田市	13	11.0%
摂津市	0	0.0%
茨木市	5	4.2%
高槻市	1	0.8%
兵庫県	16	13.6%
宝塚市	4	3.4%
川西市	3	2.5%
西宮市	1	0.8%
伊丹市	3	2.5%
尼崎市	4	3.4%
川辺郡	0	0.0%
神戸市	0	0.0%
芦屋市	1	0.8%
その他	1	0.8%
計	118	100.0%

本園が開設を予定している小学校が、豊中市を含めて主な児童獲得圏と想定している北摂地域を中心とした大阪府からは、表3から計 101 名の出願が見込まれることになる。同じく尼崎市、宝塚市等の兵庫県下の阪急電車沿線地域からは 16 名の出願が見込まれ合わせて 117 名となる。

④ 開学初年度の 2 年生の入学児童数の予測（1・2 年同時開学のため）=他小学校の事例分析

開学初年度に 2 年生を同時に募集する点については、開学年度（平成 26 年 4 月開校）に 1、2 年生同時募集を行った茨城県の [REDACTED] 小学校を例にとると、その際の受験者数は 1 年生 175 名、2 年生 58 名（募集人数 90 名）であった。2 年生については 1 年生の約 33% 程度が出願すると思われる。

<新設する瑞穂の國記念小学院（仮称）の入学児童数の見込みについて>

A. 1 年生の入学児童数

- ①の結果から、10 名以上の出願者数が見込まれる。
- ②及び③の結果から、117 名程度の出願者数が見込まれる。

以上により、少なくとも合計 127 名の出願者が期待でき、1 年生入学定員 80 名の確保は十分可能であると考える。

B. 2 年生の入学児童数

- ①の結果から 16 名以上の出願者数が見込まれる。
- ④の分析により、1 年生の出願見込み数 117 名（本園以外） $\times 0.33 = 39$ 程度の出願者数が見込まれる。

以上により、少なくとも合計 55 名の出願者が期待でき、2 年生入学定員 50 名の確保は十分可能であると考える。

以上のように、本園が実施したアンケート等から募集定員 1 年生 80 名、2 年生 50 名の確保は十分可能であると考える。

さらに、新設する瑞穂の國記念小學院（仮称）は、既存の私立小学校とは一線を画する独自の教育理念と教育方針を持っているが、この間の小学校設立の準備活動において、多くの人々と接触する機会を得たが、本園の教育理念と教育方針に賛同する声は実に多かった。そのことは、小学校設立資金の寄付が 274 件（8月 11 日現在、まだまだ増えると思われる）にものぼっていることにも反映されている。

また小学校の設立予定地である豊中市、吹田市等を含む北摂地域各市は、勤労者世帯の年間平均収入について大阪府平均を上回っており（表 4 参照）阪急電車沿線である茨木市、高槻市まで含め、私立小学校進学を視野に入れている保護者は相当数存在すると思われる。このことも、生徒確保の可能性を高める要因となると思われる。

表 4 大阪府地区別勤労者世帯年収（単位：千円）

大阪府平均	北摂地域					
	豊中市	吹田市	池田市	箕面市	茨木市	高槻市
6,758	8,058	7,607	7,484	8,124	8,602	7,057

出所 大阪府統計データ

以上

・小学校設立に関するアンケート調査（在園生）

学校法人森友学園は、大阪府豊中市（阪急宝塚線庄内駅）に小学校の設立を計画しています。

皆様のお子様の進路についてのお考えをこのアンケート調査でお聞きすることによって、設立する小学校をより需要に合ったものにしていきたいと考えております。

皆様よりいただきました情報は、小学校の設立に係る統計資料としてのみ活用するものであり、それ以外の目的で用いることは一切ございませんので、ご協力のほど、お願い申し上げます。

なお、提出は、平成 26 年 7 月 14 日（月）までにお願いいたします

問 1 お子様は、現在、幼稚園何学年ですか？ 複数の園児をお持ちの場合、当てはまるものすべての番号に○をつけてください。

1. 年長 2. 年中 3. 年少

問 2 お子様の性別を教えてください。問 1 で複数の回答をされた場合、() 内に学年をお書きください。

1. 男児 () 2. 女児 ()

問 3 いまの公立小学校に対する不満は何ですか？ 当てはまるものすべての番号に○をつけてください。

1. 学校運営に理念がない。校長の顔が見えない。
2. 子供を真剣に育てようとする信念、覚悟が感じられない。
3. 子供だけでなく、保護者も成長させようという姿勢が感じられない。
4. 道徳教育が成り立っていない。道徳に対する見識がない。
5. 教員に向上心、気概がない。
6. 進学指導ができていない。
7. 「学びの場」としての空間ができていない。

問 4 いまの私立小学校に対する不満は何ですか？ 当てはまるものすべての番号に○をつけてください。

1. 進学指導にばかり力を入れ、児童の心の成長に関するアプローチに欠ける。
2. 宗教教育等、心の成長に関するアプローチの方法として、塚本幼稚園につながる小学校がない。
3. 指導内容に対して、授業料が高すぎる。
4. 給食の食材の産地がわからず、不安である。
5. 小学校の中ですべての学習が完結せず、塾にも通わなければならない。

問 5 学校法人森友学園の設立する小学校は、問 3・問 4 の不満をすべて解決します。皆さんは、お子様を学校法人森友学園の設立する小学校に入学させますか？ 当てはまるものひとつの番号に○をつけてください。

1. 必ず入学させる。
2. おそらく入学させる。
3. 入学させる可能性が高い。
4. 入学させる可能性がある。
5. 入学させる可能性は低い。
6. 入学させない。

問6 問5で5または6と答えた方に伺います。入学をためらうのはなぜですか？ 当てはまるものすべての番号に○をつけてください。

1. 公立小学校の教育で十分だから。
2. 他に進学を考えている私立小学校があるから。
3. 塚本幼稚園の理念に共鳴できていないから。
4. 公立小学校は無償であり、入学金・授業料を支払ってまで私立小学校に行かせようとは思わないから。
5. 自宅が遠いから。

問7 問6で4または5と答えた方に伺います。問4の問題点について、4は「返済不要の奨学金制度、または特待生制度を作る」、5は「遠距離までスクールバスを走らせる」、という解決策が講じられれば、入学しますか？ 当てはまるものひとつの番号に○をつけてください。

1. 入学する。
2. 入学しない。

問8 問7で2と答えた方に伺います。入学しない理由は何ですか？ 自由にお書きください。

問9 いま、小学生をお持ちの方、またお持ちでない場合はいらっしゃると仮定して、学校法人森友学園の設立する小学校が中途募集を行うとした場合、お子様を新設小学校に転校させますか？ 当てはまるものひとつの番号に○をつけてください。

1. 必ず転校させる。
2. おそらく転校させる。
3. 転校させる可能性が高い。
4. 転校させる可能性がある。
5. 転校させる可能性は低い。
6. 転校させない。

問10 小学生をお持ちの方は、学年をお教えください。複数の小学生をお持ちの場合、当てはまるものすべての番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 2. 2年生 | 3. 3年生 |
| 4. 4年生 | 5. 5年生 | 6. 6年生 |

問 11 塚本幼稚園に通う園児の保護者以外の方に、新設小学校への入学を勧めますか？ 当てはまるものひとつつの番号に○をつけてください。

1. 必ず入学を勧める。
2. おそらく入学を勧める。
3. 入学を勧める可能性が高い。
4. 入学を勧める可能性がある。
5. 入学を勧める可能性は低い。
6. 入学を勧めない。

問 12 学校法人森友学園の設立する小学校に収める月々の授業料（教材費を含む）として、いくらが妥当ですか？ 当てはまるものひとつつの番号に○をつけてください。

1. 50,000円未満
2. 50,000円以上60,000円未満
3. 60,000円以上70,000円未満
4. 70,000円以上80,000円未満
5. 80,000円以上90,000円未満
6. 90,000円以上

問 13 学校法人森友学園の設立する小学校の教育について、期待する点を自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

別紙2

塙本幼稚園在園生アンケート(単純集計表)

問1 お子様は現在幼稚園何学年ですか

	回答数	構成比
(1) 年長	37	36.3%
(2) 年中	25	24.5%
(3) 年少	40	39.2%
無回答	0	0.0%
計	102	100.0%

問2 お子様の性別 年長

	回答数	構成比
(1) 男児	19	51.4%
(2) 女児	16	43.2%
無回答	2	5.4%
計	37	100.0%

問2 お子様の性別 年中

	回答数	構成比
(1) 男児	12	48.0%
(2) 女児	12	48.0%
無回答	1	4.0%
計	25	100.0%

問2 お子様の性別 年少

	回答数	構成比
(1) 男児	17	42.5%
(2) 女児	23	57.5%
無回答	0	0.0%
計	40	100.0%

問3 いまの公立小学校に対する不満は何ですか?
当てはまるものすべての番号に○をつけてください。

	回答数	構成比
(1) 学校運営に理念がない。校長の顔が見えない。	21	21.9%
(2) 子供を真剣に育てようとする信念、覚悟を感じられない。	33	34.4%
(3) 子供だけでなく、保護者も成長させようという姿勢が感じられない。	32	33.3%
(4) 道徳教育が成り立っていない。道徳に対する見識がない。	37	38.5%
(5) 教員に向上心、気概がない。	32	33.3%
(6) 進学指導ができていない。	24	25.0%
(7) 「学びの場」としての空間ができていない。	33	34.4%
無回答	15	15.6%
回答者数	95	

問4 いまの私立小学校に対する不満は何ですか?
当てはまるものすべての番号に○をつけてください。

	回答数	構成比
(1) 進学指導にばかり力を入れ、児童の心の成長に関するアプローチに欠ける。	21	21.9%
(2) 宗教教育等、心の成長に関するアプローチの方法として、塙本幼稚園につながる小学校がない。	21	21.9%
(3) 指導内容に対して、授業料が高すぎる。	43	44.8%
(4) 給食の食材の産地がわからず、不安である。	12	12.5%
(5) 小学校の中ですべての学習が完結せず、塾にも通わなければならぬ。	44	45.8%
無回答	18	18.8%
回答者数	95	

問5 皆さんは、お子様を学校法人森友学園の設立する小学校に入学させますか？
当てはまるものひとつ前の番号に○をつけてください。

	回答数	構成比
(1) 必ず入学させる。	4	4.2%
(2) おそらく入学させる。	5	5.2%
(3) 入学させる可能性が高い。	4	4.2%
(4) 入学させる可能性がある。	26	27.1%
(5) 入学させる可能性は低い。	47	49.0%
(6) 入学させない。	10	10.4%
無回答	0	0.0%
計	96	100.0%

問6 問5で5または6と答えた方に伺います。入学をためらうのはなぜですか？
当てはまるものすべての番号に○をつけてください。

	回答数	構成比
(1) 公立小学校の教育で十分だから。	10	17.5%
(2) 他に進学を考えている私立小学校があるから。	9	15.8%
(3) 崇本幼稚園の理念に共鳴できていないから。	0	0.0%
(4) 公立小学校は無償であり、入学金・授業料を支払ってまで私立小学校に行かせようとは思わないから。	21	36.8%
(5) 自宅が遠いから。	38	66.7%
無回答	2	3.5%
回答者数	57	100.0%

問7 問6で4または5と答えた方に伺います。

問4の問題点について、4は「近済不要の奨学金制度、または特待生制度を作る」、
5は「遠距離までスクールバスを走らせる」という解決策が講じられれば、入学しますか？
当てはまるものひとつ前の番号に○をつけてください

	回答数	構成比
(1) 入学する。	16	37.2%
(2) 入学しない。	23	53.5%
無回答	4	9.3%
計	43	100.0%

問8 いま、小学生をお持ちの方、またお持ちでない場合はいらっしゃると仮定して、学校法人
森友学園の設立する小学校が中途募集を行うとした場合、お子様を新設小学校に転校
させますか？
当てはまるものひとつ前の番号に○をつけてください。

	回答数	構成比
(1) 必ず転校させる。	1	1.0%
(2) おそらく転校させる。	4	4.2%
(3) 転校させる可能性が高い。	5	5.2%
(4) 転校させる可能性がある。	22	22.9%
(5) 転校させる可能性は低い。	41	42.7%
(6) 転校させない。	9	9.4%
無回答	14	14.6%
計	96	100.0%

問10 小学生をお持ちの方は、学年をお教えください。
複数の小学生をお持ちの場合、当てはまるものすべての番号に○をつけてください。

	回答数	構成比
(1) 1年生	12	12.5%
(2) 2年生	9	9.4%
(3) 3年生	5	5.2%
(4) 4年生	1	1.0%
(5) 5年生	3	3.1%
(6) 6年生	0	0.0%
無回答	71	74.0%
回答者数	96	100.0%

問11 塚本幼稚園に通う園児の保護者以外の方に、新設小学校への入学を勧めますか？
当てはまるものひとつの番号に○をつけてください。

		回答数	構成比
(1)	必ず入学を勧める。	2	2.1%
(2)	おそらく入学を勧める。	9	9.4%
(3)	入学を勧める可能性が高い。	7	7.3%
(4)	入学を勧める可能性がある。	43	44.8%
(5)	入学を勧める可能性は低い。	24	25.0%
(6)	入学を勧めない。	7	7.3%
	無回答	4	4.2%
	計	96	100.0%

問12 学校法人森友学園の設立する小学校にかかる月々の授業料(教材費を含む)として、
いくらが妥当ですか？ 当てはまるものひとつの番号に○をつけてください。

		回答数	構成比
(1)	50,000円未満	46	47.9%
(2)	50,000円以上60,000円未満	26	27.1%
(3)	60,000円以上70,000円未満	11	11.5%
(4)	70,000円以上80,000円未満	6	6.3%
(5)	80,000円以上90,000円未満	1	1.0%
(6)	90,000円以上	0	0.0%
	無回答	6	6.3%
	計	96	100.0%

小学校設立に関するアンケート調査

学校法人森友学園は、大阪府豊中市（阪急宝塚線庄内駅）に小学校の設立を計画しています。皆様のお考えをこのアンケート調査でお聞きすることによって、設立する小学校をより需要に合ったものにしていきたいと考えております。なお、皆様よりいただきました情報は、小学校の設立に係る統計資料としてのみ活用するものであり、それ以外の目的で用いることは一切ございません。ご協力のほど、お願い申し上げます。

問1 教育内容の特色について、良いと思うものはどれですか。あてはまるものすべての番号に○をしてください。

1. 心の教育として「道徳」重視、礼儀正しく人間性豊かな児童
2. 小1からネイティブ教師につく
3. すべての教科の基礎となる読書指導に力を入れ、「読書タイム」を設けます

問2 小学校の設立に関心がありますか。あてはまるものひとつの番号に○をしてください。

1. 大いに関心がある
2. 関心がある
3. 少し関心がある
4. 関心がない

問3 小学校の学校説明会が実施される場合は参加したいとお考えですか。あてはまるものひとつの番号に○をしてください。

1. 是非参加したい
2. 参加を検討したい
3. 参加しない
4. 今は分からぬ

問4 小学校が開校した場合、入学を希望しますか。あてはまるものひとつの番号に○をしてください。

1. 入学したい
2. 入学を検討したい
3. 説明会に参加してから受験を検討したい
4. 関心はあるが、今のところ受験は考えていない
5. 受験しない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

別紙4

塚本幼稚園豊中市内アンケート(単純集計表)

問1 教育内容の特色について、良いと思うものはどれですか。(複数回答可)

		回答数	構成比
(1)	心の教育として「道徳」重視、礼儀正しく人間性豊かな児童	712	59.3%
(2)	小1からネイティブ教師につく	764	63.9%
(3)	すべての教科の基礎となる読み書き指導に力を入れ、「読書タイム」を設けます	535	44.6%
	無回答	0	0.0%
	回答者数	1200	

問2 小学校の設立に関心がありますか。(当てはまるもの一つ)

		回答数	構成比
(1)	大いに関心がある	88	7.3%
(2)	関心がある	205	17.1%
(3)	多少関心がある	587	48.9%
(4)	関心がない	316	26.3%
	無回答	4	0.3%
	計	1200	100.0%

問3 小学校の学校説明会が実施される場合は参加したいとお考えですか。(当てはまるもの一つ)

		回答数	構成比
(1)	是非参加したい	67	5.6%
(2)	参加を検討したい	236	19.6%
(3)	参加しない	403	33.5%
(4)	今は分からない	490	40.8%
	無回答	2	0.2%
	計	1200	100.0%

問4 小学校が開校した場合、入学を希望しますか。(当てはまるもの一つ)

		回答数	構成比
(1)	入学したい	29	2.4%
(2)	入学を検討したい	65	5.4%
(3)	説明会に参加してから受験を検討したい	127	10.6%
(4)	関心はあるが、今のところ受験は考えてない	554	46.2%
(5)	受験はしない	421	35.1%
	無回答	4	0.3%
	計	1200	100.0%

資料

大阪府 私学・大学課
小中振興グループ様

覚書

学校法人森友学園が計画されている「瑞穂の國記念小學院（仮称）」の建築事業につきまして、当社が受注した場合は、「瑞穂の國記念小學院（仮称）」設置認可申請書に添付されている同小学校建築事業費の見積書

にもとづき、前向きに取り組んでまいります。

平成27年1月13日

担当

資料3

平成27年1月6日

森友学園 新規学校設立案件 収支計画・借入返済計画概要(初年度12年生を募集 小学校2クラス)

生徒数 100%

収支計画		(平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 平成33年度 平成34年度 平成35年度 平成36年度 平成37年度)										
	△2期目	△1期目	1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目
新規開拓費												
入学金取入												
施設費取入												
学割引入												
教育先受業取入												
補助金取入												
その他收入(総計等)												
収入合計												
教育人件費												
職員人件費												
施設運営費代												
教育研究費等支出												
※(管)修繕費(備他項)												
その他支出(総括等)												
賃借料等												
受私利回												
経費合計日												
参考収支(A-1-B)												

3月完成
1・2年生開校

※2 土地購入費:

借入返済計画		(平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 平成33年度 平成34年度 平成35年度 平成36年度 平成37年度)										
	△2期目	△1期目	1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目
自己資金・初期整備資金												
事業収支(△)												
運送費(運送費)												
運送料・土地購入												
設備整備・教育施設等												
新設整備等の借入												
借入金												
次年度予算額												

設定条件

1. 1学年2クラス
2. 1クラス40人
3. 初年度は1、2年生募集
※開設年生2生のみ1クラス25人
4. 入学後定料20,000円
5. 入学金40,000円(初年度のみ)
6. 施設費200,000円(初年度のみ)
7. 授業料月額50,000円
8. 教育充実費1人年額20,000円
9. 携助金以外生徒1人年額
10. その他の収入(給食代等)は

11. 教員給与年額

12. 職員給与年額

13. 駆除教員給与年額

14. 教育研究経費・管理経費

15. 地代は年額

※1 [] は確定額ではない。(見積もり合せ後に確定)

※2 [] は確定額ではない。(見積もり合せ後に確定)

左記収支計画・返済計画概要について、
十分に検討を重ねた結果、当該計画概要
通りに事業取扱及び借入返済が実行され
ると思われる。

平成27年1月6日



6年度 1年生を募集 80名	平成33年度	
	小学校2クラス	第 6期目

予定生徒数	1クラス予定生徒数	予定クラス数	予定生徒数
	小学1年	40 × 2	= 80
	小学2年	40 × 2	= 80
	小学3年	40 × 2	= 80
	小学4年	40 × 2	= 80
	小学5年	40 × 2	= 80
	小学6年	40 × 2	= 80
小学校計		12	= 480

検定料収入	検定料	予定受験者数	
	20,000 × [REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
入学金収入	入学金	入学者数	
	400,000 × 80	[REDACTED]	= 32,000,000
施設費収入	施設費	入学者数	
	200,000 × 80	[REDACTED]	= 16,000,000
学費収入	月学費	生徒数	月数
	50,000 × 480 × 12	[REDACTED]	= 288,000,000
教育充実費	月学費	生徒数	月数
	20,000 × 480 × 12	[REDACTED]	= 115,200,000
納付金収入合計			
補助金収入	1人当たり単価	生徒数	
	[REDACTED] × 480	[REDACTED]	[REDACTED]
その他収入	月費用	生徒数	月数
	[REDACTED] × 480 × 12	[REDACTED]	[REDACTED]
収入合計			

教員人件費	年間人件費	教員数	
	[REDACTED] × [REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
職員人件費	年間人件費	職員数	
	[REDACTED] × [REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
臨時教員人件費	年間人件費	臨時教員数	
	[REDACTED] × [REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
教育研究経費支出	月支出	月数	
	[REDACTED] × 12	[REDACTED]	[REDACTED]
管理経費支出	月支出	月数	
	[REDACTED] × 12	[REDACTED]	[REDACTED]
管理経費(借地料)	月支出	月数	
	[REDACTED] × 12	[REDACTED]	[REDACTED]
その他支出	月費用	生徒数	月数
	[REDACTED] × 480 × 12	[REDACTED]	[REDACTED]
減価償却費			
支払利息			
支出合計			[REDACTED]
事業収支			[REDACTED]

5年度 1年生を募集 80名	平成32年度	
	小学校2クラス	第 5期目

予定生徒数	1クラス予定生徒数	予定クラス数	予定生徒数
	小学1年	40 × 2	= 80
	小学2年	40 × 2	= 80
	小学3年	40 × 2	= 80
	小学4年	40 × 2	= 80
	小学5年	40 × 2	= 80
	小学6年	25 × 2	= 50
	小学校計	- 12	= 450

検定料収入	検定料	予定受験者数		
	20,000	×	=	
入學金収入	入學金	入学者数	入学者数	
	400,000	×	80	= 32,000,000
施設費収入	施設費	入学者数	入学者数	
	200,000	×	80	= 16,000,000
学費収入	月学費	生徒数	月数	
	50,000	×	450	= 270,000,000
教育充実費	月学費	生徒数	月数	
	20,000	×	450	= 108,000,000
納付金収入合計				
補助金収入	1人当たり単価	生徒数		
		×	400	=
その他収入	月費用	生徒数	月数	
		×	450	=
収入合計				

教員人件費	年間人件費	教員数	
	×	=	
職員人件費	年間人件費	職員数	
	×	=	
臨時教員人件費	年間人件費	臨時教員数	
	×	=	
教育研究経費支出	月支出	月数	
	×	12	=
管理経費支出	月支出	月数	
	×	12	=
管理経費(借地料)	月支出	月数	
	×	12	=
その他支出	月費用	生徒数	月数
	×	450	=
減価償却費			
支払利息			
支出合計			
事業収支			

4年度 1年生を募集 80名	平成31年度	
	小学校2クラス	第 4期目

予定生徒数	1クラス予定生徒数	予定クラス数	予定生徒数
	小学1年	40 × 2	= 80
	小学2年	40 × 2	= 80
	小学3年	40 × 2	= 80
	小学4年	40 × 2	= 80
	小学5年	25 × 2	= 50
	小学6年	×	= 0
小学校計		10	= 370

検定料収入	検定料	予定受験者数	
	20,000 ×	[REDACTED] =	[REDACTED]
入学金収入	入学金	入学者数	
	400,000 × 80	=	32,000,000
施設費収入	施設費	入学者数	
	200,000 × 80	=	16,000,000
学費収入	月学費	生徒数 月数	
	50,000 × 370 × 12	=	222,000,000
教育充実費	月学費	生徒数 月数	
	20,000 × 370 × 12	=	88,800,000
納付金収入合計			[REDACTED]
補助金収入	1人当たり単価	生徒数	
	[REDACTED] × 320	=	[REDACTED]
その他収入	月費用	生徒数 月数	
	[REDACTED] × 370 × 12	=	[REDACTED]
収入合計			[REDACTED]

教員人件費	年間人件費	教員数	
	[REDACTED] × [REDACTED]	=	[REDACTED]
職員人件費	年間人件費	職員数	
	[REDACTED] × [REDACTED]	=	[REDACTED]
臨時教員人件費	年間人件費	臨時教員数	
	[REDACTED] × [REDACTED]	=	[REDACTED]
教育研究経費支出	月支出	月数	
	[REDACTED] × 12	=	[REDACTED]
管理経費支出	月支出	月数	
	[REDACTED] × 12	=	[REDACTED]
管理経費(借地料)	月支出	月数	
	[REDACTED] × 12	=	[REDACTED]
その他支出	月費用	生徒数 月数	
	[REDACTED] × 370 × 12	=	[REDACTED]
減価償却費			
支払利息			
支出合計			[REDACTED]
事業収支			[REDACTED]

3年度 1年生を募集 80名	平成30年度	
	第3期目	

予定生徒数	1クラス予定生徒数	予定クラス数	予定生徒数
	小学1年 40	× 2	= 80
	小学2年 40	× 2	= 80
	小学3年 40	× 2	= 80
	小学4年 25	× 2	= 50
	小学5年 X		= 0
	小学6年 X		= 0
	小学校計 -	8	= 290

検定料収入	検定料	予定受験者数	
	20,000	×	=
入学金収入	入学金	入学者数	
	400,000	×	= 32,000,000
施設費収入	施設費	入学者数	
	200,000	×	= 16,000,000
学費収入	月学費	生徒数 月数	
	50,000	× 290 × 12	= 174,000,000
教育充実費	月学費	生徒数 月数	
	20,000	× 290 × 12	= 69,600,000
納付金収入合計			
補助金収入	1人当たり単価	生徒数	
	X	240	=
その他収入	月費用	生徒数 月数	
	X	290 × 12	=
収入合計			

教員人件費	年間人件費	教員数	
	X	=	
職員人件費	年間人件費	職員数	
	X	=	
臨時教員人件費	年間人件費	臨時教員数	
	X	=	
教育研究経費支出	月支出	月数	
	X	12	=
管理経費支出	月支出	月数	
	X	12	=
管理経費(借地料)	月支出	月数	
	X	12	=
その他支出	月費用	生徒数 月数	
	X	290 × 12	=
減価償却費			
支払利息			
支出合計			
事業収支			

2年度 1年生を募集 80名	平成29年度	
	小学校2クラス	第2期目

予定生徒数	1クラス予定生徒数	予定クラス数	予定生徒数
	小学1年	40 × 2	= 80
	小学2年	40 × 2	= 80
	小学3年	25 × 2	= 50
	小学4年	×	= 0
	小学5年	×	= 0
	小学6年	×	= 0
小学校計		6	= 210

検定料収入	検定料	予定受験者数	
	20,000 ×	=	
入学金収入	入学金	入学者数	
	400,000 × 80	=	32,000,000
施設費収入	施設費	入学者数	
	200,000 × 80	=	16,000,000
学費収入	月学費	生徒数 月数	
	50,000 × 210 × 12 =		126,000,000
教育充実費	月学費	生徒数 月数	
	20,000 × 210 × 12		50,400,000
納付金収入合計			
補助金収入	1人当たり単価	生徒数	
	× 160 =		
その他収入	月費用	生徒数 月数	
	× 210 × 12 =		
収入合計			

教員人件費	年間人件費	教員数	
	×	=	
職員人件費	年間人件費	職員数	
	×	=	
臨時教員人件費	年間人件費	臨時教員数	
	×	=	
教育研究経費支出	月支出	月数	
	× 12 =		
管理経費支出	月支出	月数	
	× 12 =		
管理経費(借地料)	月支出	月数	
	× 12 =		
その他支出	月費用	生徒数 月数	
	× 210 × 12 =		
減価償却費			
支払利息			
支出合計			
事業収支			

初年度 1.2年生を募集 130名	平成28年度	
	小学校2クラス	第1期目

予定生徒数	1クラス予定生徒数	予定クラス数	予定生徒数
	小学1年 40	× 2	= 80
	小学2年 25	× 2	= 50
	小学3年	×	= 0
	小学4年	×	= 0
	小学5年	×	= 0
	小学6年	×	= 0
小学校計		4	= 130

検定料収入	検定料	予定受験者数	
	20,000	×	=
入学金収入	入学金	入学者数	
	400,000	×	130 = 52,000,000
施設費収入	施設費	入学者数	
	200,000	×	130 = 26,000,000
学費収入	月学費	生徒数	月数
	50,000	×	130 × 12 = 78,000,000
教育充実費	月学費	生徒数	月数
	20,000	×	130 × 12 = 31,200,000
納付金収入合計			
補助金収入	1人当たり単価	生徒数	
		×	80 =
その他収入	月費用	生徒数	月数
		×	130 × 12 =
収入合計			

教員人件費	年間人件費	教員数	
		×	=
職員人件費	年間人件費	職員数	
		×	=
臨時教員人件費	年間人件費	臨時教員数	
		×	=
教育研究経費支出	月支出	月数	
		×	12 =
管理経費支出	月支出	月数	
		×	12 =
管理経費(借地料)	月支出	月数	
		×	12 =
その他支出	月費用	生徒数	月数
		×	130 × 12 =
減価償却費			
支払利息			
支出合計			
事業収支			

資料4

1年生(時間割案)

	月	火	水	木	金	土
1	国語	国語	国語	国語	国語	国語
2	国語	国語	国語	国語	国語	国語
3	算数	算数	算数	算数	算数	算数
4	生活	音楽	生活	音楽	算数	体育
5	図工	体育	図工	体育	生活	体育
6	道徳	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	体育

*月～金の1～6限目と土の1～4限目までの時間数34週で教育課程表の各科目時間数となる。科目横の数字は授業週数を示す。同一時間に複数科目設定している箇所は各週数に配分する。

*特別活動については「行事」への活動を特に重視し、公式行事、儀礼的行事、各種式典への参加等をプログラム化し実施する。

2年生(時間割案)

	月	火	水	木	金	土
1	国語	国語	国語	国語	国語	国語27/生活8
2	国語	国語	国語	国語	算数	算数
3	算数	算数	算数	算数	算数	特別活動 算数
4	生活	生活	生活	生活	生活20/道徳15	音楽6/図工6/体育9
5	音楽	音楽	音楽	図工	体育	体育
6	体育	体育	道徳	特別活動	特別活動	外國語30

※月～金の1～6限目と土の1～4限目までの時間数35分で教育課程表の各科目時間数となる。科目横の数字は授業回数を示す。同一時間に複数科目設定している箇所は各週数に配分する。
 ※特別活動については「行事」への活動を特に重视し、公式行事、儀礼的行事、各種式典への参加等をプログラム化し実施する。